

BRIDGE構築事業「教科等横断」推進プロジェクト探究型学習実践事業
令和7年度(2025年度)授業等研究セミナー 道東・道北ブロック 情報

協働的な学びによる情報デザイン

実践発表資料

2025年12月3日(水)

北海道帯広三条高等学校 教諭 土田 泰裕

はじめに…

○今年度の担当科目

・情報 I

- ・2年次 2単位(週2コマ)×6クラス
 - ・実教出版【高校情報 I Python】を使用
 - ・PC教室(4階)に移動して授業
 - ・シラバス上の配当時間は以下のとおり
 - ①第1章 情報社会 (8時間)
 - ②第3章 デジタル (10時間)
 - ③第4章 ネットワーク (9時間)
 - ④第2章 情報デザイン (9時間)
 - ⑤第5章 問題解決 (14時間)
 - ⑥第6章 プログラミング (18時間)
- ※考查2回を除いた68時間で配当。

・情報課題研究 ※学校設定科目

- ・3年次 1単位(週2コマ) 自由選択科目群
- ・実教出版 2026実践攻略 共テ問題集 を併用
- ・PC教室(4階)に移動して授業
- ・シラバス上の配当時間は以下のとおり(全60時間)
 - ①第3章 コンピュータとプログラミング
に関する研究 (19時間)
 - ②第4章 情報通信ネットワークとデータの活用
に関する研究 (18時間)
 - ③第2章 コミュニケーションと情報デザイン
に関する研究 (12時間)
 - ④第1章 情報社会の問題解決
に関する研究 (11時間)

今回の実践発表…

○【情報デザインと表現の工夫】による実習

→見学旅行の自主研修報告(8時間で設定、概要は以下のとおり)

①要素(用語)の確認・他紙に学ぶ **(事前指導)**

※紙面見本のために生成AIで画像を用意

②回想・紙面構成の検討・役割分担

・ワークシートをもとにグループ活動

③記事の作成・レイアウトの作成

・原稿用紙に下書きを完成（字数を意識）

④記事のデータ化・写真の共有と選定

・リースPCで作業、Microsoft Word を使用

・Google ドライブで写真を共有

※拡張子の意義、データ量の復習

⑤紙面修正Ⅰ、見出しの検討

・校正用の紙面を見て確認→朱書きで記入

※肖像権の確認、適切な画像処理の確認

⑥紙面修正Ⅱ、見出しの調整、題字の検討

・⑤と同じ。

⑦紙面修正Ⅲ、見出し・題字・地紋の調整→完成

・⑤と同じ。

⑧紙面の読み比べ→批評、取り組みの振り返り

・紙面は印刷配布→Google フォームへ入力

※生徒の批評・振り返りの評価を生成AIで処理？

実際に授業で使ったスライドへ→

実際の授業スライドで紹介…今回の作業日程



- ① 新聞の用語を知る・他紙に学ぶ
- ② 回想・新聞の中身を検討・役割分担
- ③ 記事の作成・レイアウト作成
- ④ 記事のデータ化・レイアウト完成・写真の選定・題字の選定
※記事データは、授業の最後にテキスト化します。
※個人端末から Google の Classroom・ドライブにアクセス
※写真は加工してはいけません！（写真：真実を写したもの）
- ⑤ 見出し・題字の検討、紙面（記事・写真トリミング）修正→完成
※見出しのフォント、網掛け・題字の地紋の選定
- ⑥ 紙面の読み比べ・感想入力、振り返り

R7情報 I ⑯「見学旅行 研修新聞作成」

2年 組 番 氏名



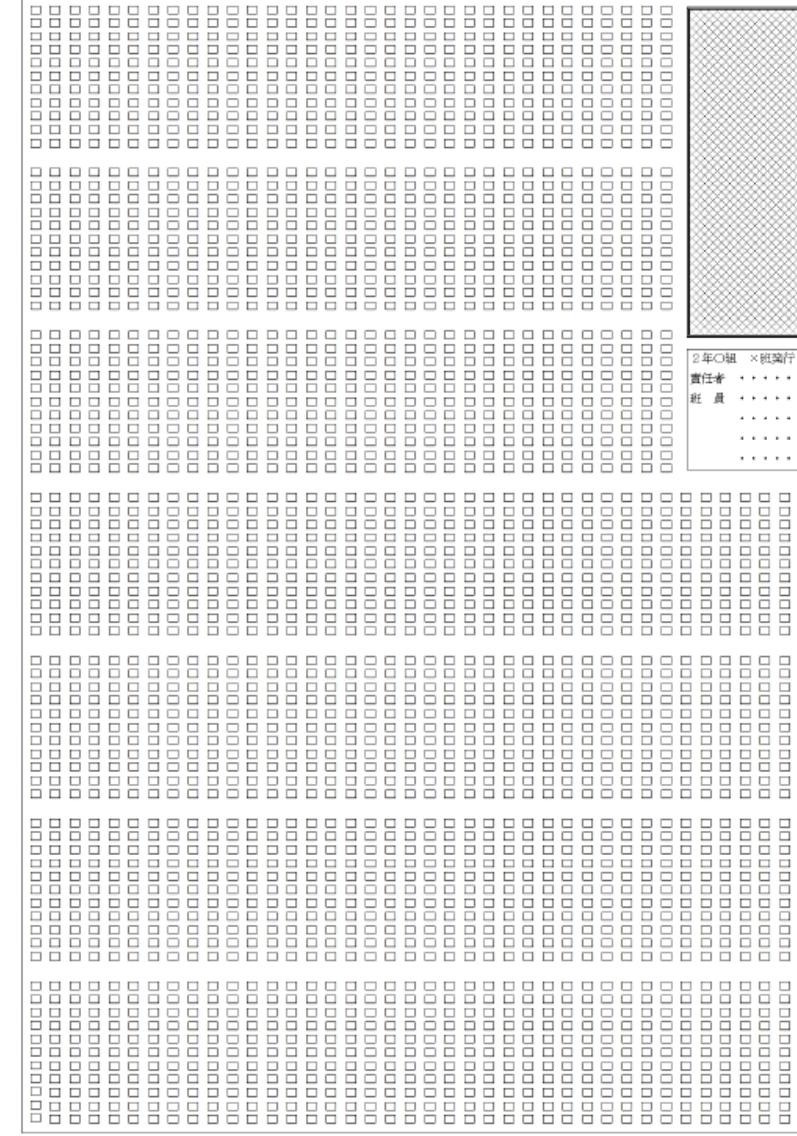
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫

※レイアウト（割付用紙）の書き方

第 1 号

000000

令和5年11月一日



①ハコモノを置く（集合写真、カコミ記事、タタミ記事）→大枠が決まる

②流し記事の見出し、リード文を置く→問題なければハコモノの中も写真・見出しを

③記事を置く（行数を補足する）→キャプションを置く→流しの段落線を引く

画面は、生徒に配布しているプリントの表面

左側：要素の確認

右側：割付用紙

※左側の見本紙の
下書きを描く

裏面には、

- ・要素の説明
 - ・紙面のポイントなどを記載

「適切な情報発信」

- ・情報の価値づけ
 - ・読みやすさ

1. 今回の自主研修新聞を作成する上で必要な要素（番号は表面の参考紙面と一致）

- ① 題字 一般紙の多くが1面の右上に配置（特徴ある名前を！）
- ② 題字下 新聞発行の責任所在を示す。（クラス・班・班長・班員名を記入）
- ③ 研修コース 余った箇所に小さく・どこに行った（行くはず）かを記録
- ④ リード文・前文 記事の内容を要約したもの（流し記事に配置）
- ⑤ 写真 背景よりも表情が大切！（集合写真、その班らしい写真を撮影）
- ⑥ キャプション 写真や図などの説明文。（名前・場所・写真の内容を具体的に）
- ⑦ ヘッダ・アタマ 紙面上部に記載（号数、ページ数、新聞名、発行年月日など）
- ⑧ 罫線 記事と記事、記事の種類を区切り、読みやすくする役割を持つ。

A : 段罫線⇒段を区切り、読者の視線を誘導する線。見出しやカコミ、写真等の障害物にぶつかったとき、段罫線の有無で読む順序が異なる。
※ハコモノには使わないので注意！

B : 縦罫線⇒記事と記事を区切り、紙面構成を明確にする。時には飾ることも。
※線も1行（1文字）として引くこと

- ⑨ 見出し 記事の内容を簡潔に言い表すとともに、読者に読みたいという気持ちを持たせるもの。「肩見出し」「主見出し」「脇見出し」などがある。
(大きな記事・中くらいの記事でも3本以上、小さい記事でも2本)
- ⑩ 記事 最大多数の読者の最大関心は何か、伝える焦点は何かを判断し、事実に基づいて書く。生の声は説得力が増す。（記事の最後に署名を）

A : 流し 記事⇒形にとらわれず、紙面の上から下へ流れる。ニュース性のある記事に用いたい。横にダラッと長くならないよう工夫が必要。

B : タタミ 記事⇒他の記事とは違った印象を与えたり、記事を引き立たせる為に紙面の左右に寄せ、中央側を縦ケイ線で仕切ったもの。細長は良。

C : カコミ 記事：まとまりのある記事で周囲を罫線で囲ったもの。段線は取る！
囲み記事は見出しの位置で見栄えが変わる。

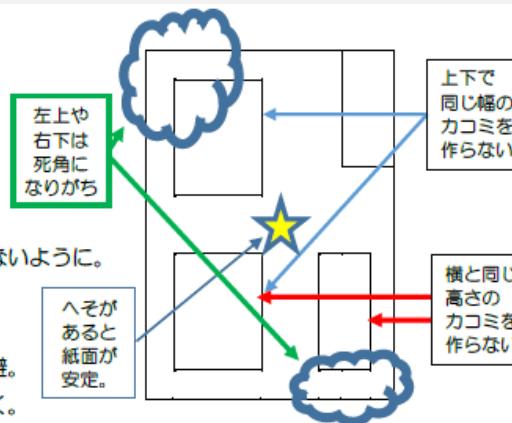
- ⑪ 編集後記 編集した後の振り返り。裏話や苦労話、取りこぼしなど、形式は自由
※編集の裏側を記することで、読者に親近感をもってもらうことができる

- ⑫ ロゴ・ワッペン 特集・連載などで記事に関連する要素をイラスト等でまとめたもの。
※その他の要素として、箸入れ、お守り、チケット等々…

2. 新聞作りの要素

① 基本的なレイアウト

- ・カコミ、タタミ記事を配置！
⇒左右、上下に寄せる。
- ・写真を配置！（下に置かない）
⇒表情良い写真是大きく！
他の写真や見出しと並ばないように。
- ・見出しを3本は配置！
- ・余った所は流し記事になる。
※ハコしかない・ハラ切りは回避。
- ※線も1行・1文字分として引く。



② 記事の書き方（記事は明朝体で掲載）

- ・曖昧な表現、受身の表現はNG。事実を客観的に捉えて、コンパクトに言い切ろう。
- ・人物（フルネーム）や「会話内容・声」を入れて当時を再現。文末で人柄を表現する。
- ・事実に基づき「結論⇒説明⇒補足」の流れで書く。もちろん、時系列に沿ってもよい。
- ・基本的に自由だが、5W1H（仕事では6W3Hまで）を意識するとよい。

WHEN	WHERE	WHO	WHOM	WHY	WHAT	HOW
（いつ：日時）	（どこ：場所）	（誰が：主役）	（誰に：相手）	（なぜ：目的）	（なに：行為）	（どうやって：様子）

③ 写真の扱い方（キャプションはゴシック体で掲載）

- ・縦横比は固定、余計な部分はトリミングする（切り抜いても良い）
- ・表情のいい写真を入れる（人の表情は大事！視線の先に記事・見出しがくるとOK）
△風景写真は読み手を惹きつけない（ネットでいくらでも見られる）。

④ 見出しのつけ方（一般的には8~12文字だが、特に拘らない）

- ・見出しは2本以上用意。5W1Hを意識して作成すると伝わりやすい。
 - ・事実（項目）を伝えるものは小さく（例：寺巡り）
 - ・内容を伝えるものは一番大きく（例：金閣寺 西日で目がくらむ！）
 - ・内容補足は次に大きく（例：足利義満の栄華を味わう）
- ※大きさ、長さ、囲み、反転、フォントに変化、縦、横、斜め、網掛けで変化を。

⑤ 見出しのフォントについて（明朝体とゴシック体を交互利用→強調と説得力のバランス）

- ・縦横同じ長さの文字を「正体」という。縦の見出しは「横長の文字（二平体）」で、横の見出しには「縦長の文字（二長体）」を使いたい。
- ・紙面のバランスを考えて、地紋を使うと効果的。また、最重要・衝撃を与えるときに反転文字（黒ベタ白抜き文字）を扱う。

あ←正体

あ←平体

あ←長体

あ←袋文字

あ←反転文字

画面は、生徒に配布しているプリントの表面

左側：要素の確認

右側：割付用紙

※左側の見本紙の下書きを描く

裏面には、

- ・要素の説明
- ・紙面のポイントなどを記載

「適切な情報発信」

- ・情報の価値づけ
- ・読みやすさ

⑧罫線 (青: 段罫線 流し用)
(緑: 縦罫線 区切り)

⑨見出し (事実を伝える)
※5W1Hで3本以上おく

⑩記事 (3種類ある)
A 流し記事 (全体の話)
B タタミ記事 (1テーマ)
C カコミ記事 (1テーマ)

⑪編集後記 (テーマ自由)
※裏話、感想など何でも可
※みんなで一人一言でも

⑫ロゴマーク
※絶対必要なわけではない
※スポーツ面・連載で見る



①題字 (新聞の名前)

※地の模様⇒『地紋』

②題字下 (責任の所在)
※責任者は班長
班員名も記載を

③研修コース (場所・地名)
※空きスペースでOK

④リード文 (記事の要約)

⑤写真 (表情が大切！)

⑥キャプション (補足説明)
※集合写真は名前を表記

⑦ヘッダ
(新聞名・日付・号数)

割付用紙の書き方

①ハコモノを入れる

- 集合写真

(18行幅×2段弱)

・力コミ記事（左側）

(15行幅×4段)

・タタミ記事（右下）

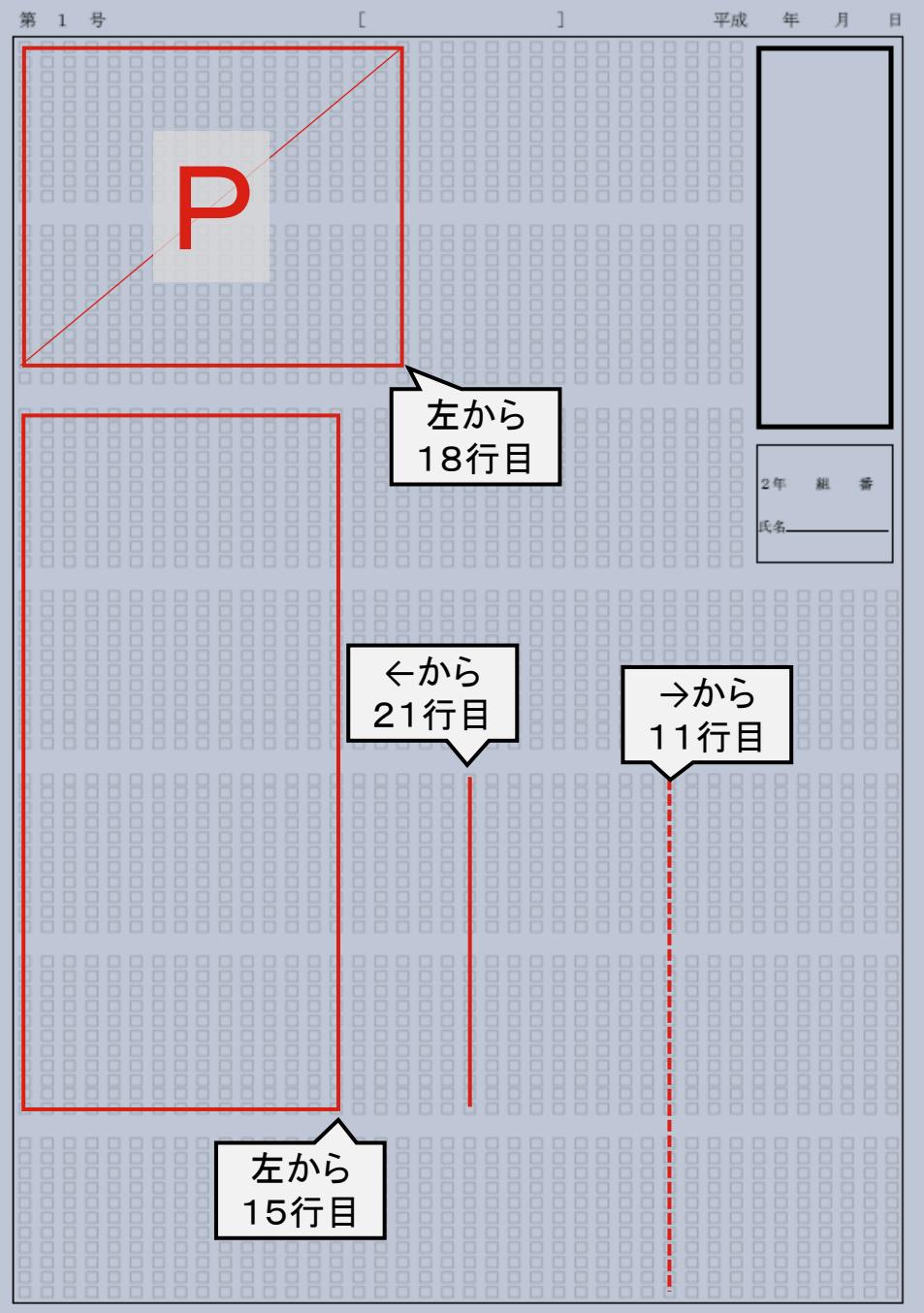
(右から11行目に
タテ罫線を引く)

・流し記事②

(左から数えて、

21行目×2段)

※線も1文字と捉える
→□の上に線を引く！



見学旅行 自主研修

歴史と風情を感じた京都

「おたべ」を食べて3キロ増

○△□新聞

2年9組 0班発行
責任者 上田 泰裕
班員

今回の道のり
1 金閣寺
2 京都駅
3 北野天満宮
4 晴明神社
5 護王神社

ここは「リード文」と呼ばれる場所。流し記事（本文）を要約した事件の概要を話す場面。自主研修がどうだったか簡単にまとめよう。

ここは「力コミ記事」と呼ばれる場所。出来事の中で、場所や出来事の中でも、場所を書くときに「左から」と「右から」で区切ることもできます。京都駅へバスで自由に流れています。一般紙では主にニュースがここに書かれます。今日は、日曜日で金閣寺にとらわれず、隙間を縫いながら、段を降りることに右へ左へ自由に流れています。

ここは「タタミ記事」と呼ばれる場所になります。一日の気分が出発1分前になります。一日のバスを見て猪突猛進で護王神社を訪問

や人物など、何か一つのことを特化して自由に書けるスペースになります。流し記事で書ききれないことを、振り下げる詳しく述べましょう！

自主研修で一番楽しめたことや、ハプニング、食事内容の出ました。人物名や紹介などを期待してあります。人物名や「本人の声」を盛り込みでアリティを出します。（土田）

足腰の守り神「イノシシ」

編集後記

編集後記は、書き手が自由なテーマで発信でき、場所でも、絶句くなり感想でも、旅行中の裏話でも、何でもOK。人で書いても良いし、全員の人一言を載せてもらえないかどうか、筆者が書かれます。（土田）

「おたべ」が名古屋



大阪・道頓堀で食べ歩き
たこ焼きめりちゃんやうまいでえ

ここは「タタミ記事」と呼ばれる場所になります。左にあるタタミ記事と同じ扱いですが、上下左右を全て囲まずに、線1本で外側に押さえ込んでハコに入っていることを表します。線を減らしたオシャレな表現方法で、縦長のタタミ記事が理想的です。

紙面に横書きの記事を入れると変化が生まれます。達成感から、読者の目を引く工夫とも言えます。割付用紙と文字の配置が異なるため、縦書きよりも文字数を増やすこともできます。（土田）

レイアウト担当者：上田泰裕

割付用紙の書き方

②見出しをおく

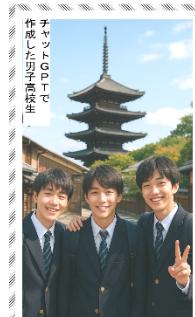
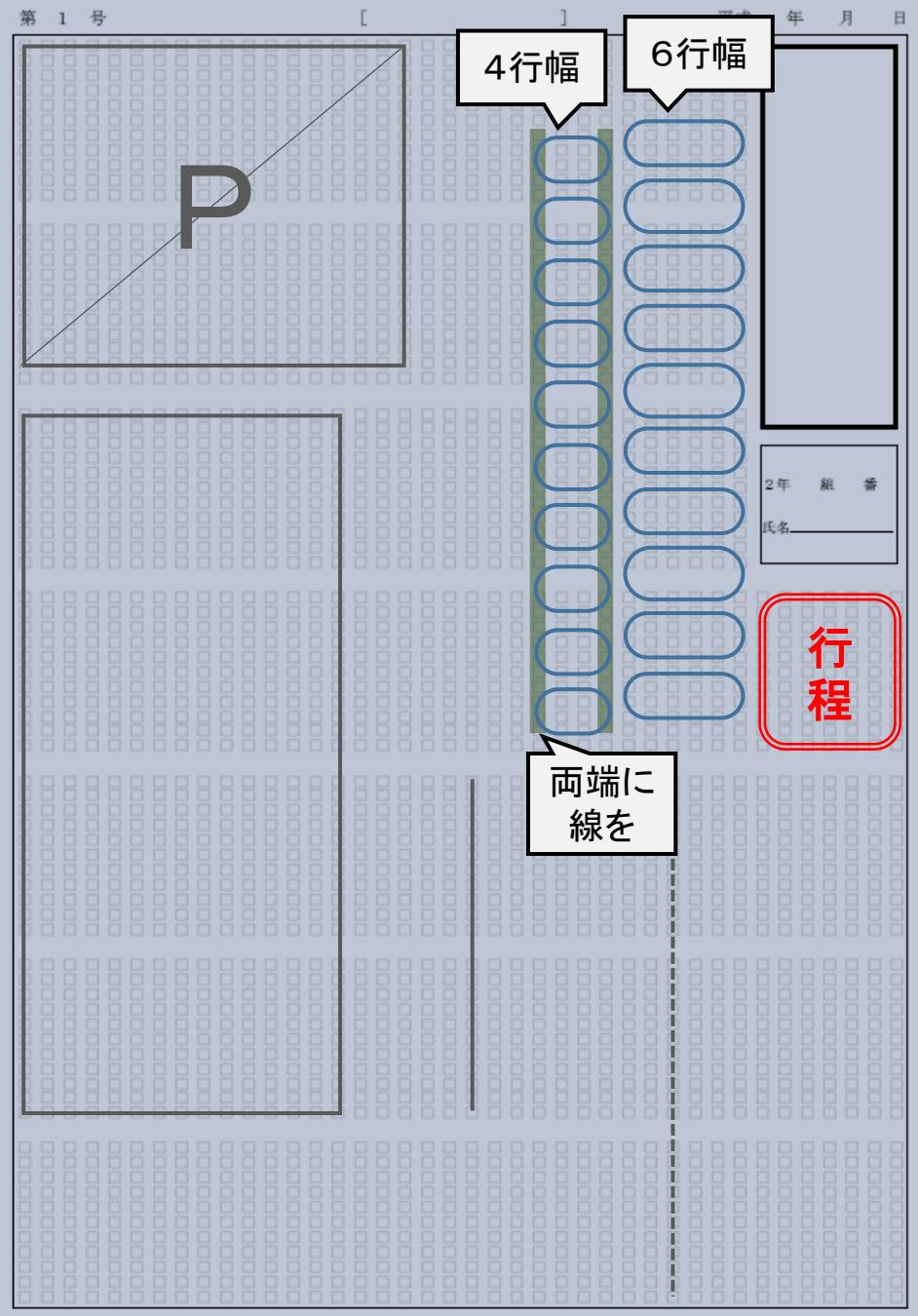
- 主見出し：平体
(6行幅×3段半)

- 袖見出し：平体
(4行幅×3段半)

※黒ベタを縦線で表現

- 見出しの右が空白になるため、行程表を入れておく。

※線も1文字と捉える
→□の上に線を引く！



気抜けば出発1分前
バスを見て猪突猛進

千支つながりで護王神社を訪問
や人物など、何か一
つのことを特化して
自由に書けるスペー
スとなります。



編集後記
編集後記は、書き手が
自由なテーマで発信でき
る場所です。絶縁づく
りの感想でも、旅行中の裏
話でも、何でもOK。一
人で書いてても良いし、全
員の人一言を載せてても
アリ。読者に親近感を与
えられるかどうか、筆者
の腕が試されます(土田)

見学旅行
自主研修

○△□新聞

歴史と風情を感じた京都
「おたべ」を食べて3キロ増

今回の道のり
1 金閣寺
2 京都駅
3 北野天満宮
4 晴明神社
5 護王神社

班員全員が写っている写真をおきましょう。合成・加工はダメです！
(この写真はChatGPTに作成してもらいました)

ここは「カコミ記」と
呼ばれる場所

出来事の中で、場所
「事」と呼ばれる

になります。一日の

出来事の中で、場所
「出来事の中」で、場所
「事」と呼ばれる

になります。

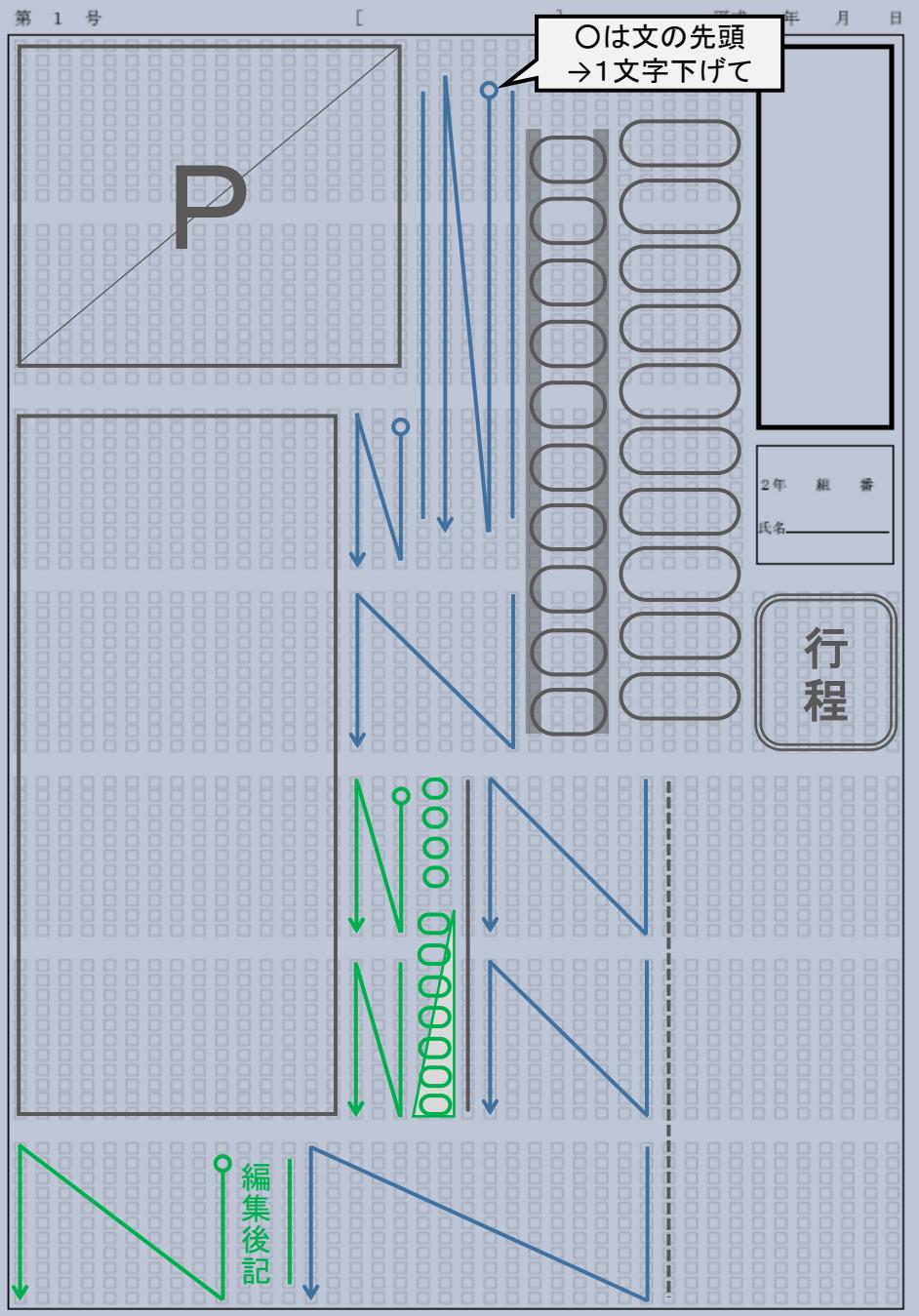
今日は「カコミ記」と
呼ばれる場所

出来事の中で、場所
「出来事の中」で、場所

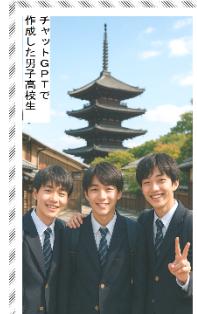
割付用紙の書き方

③記事をおく

- リード文（3行幅）
 - 文は上下2文字空け
 - 文頭は1文字空け
 - 始まりに○印
 - ⇒4文字目に○
 - ⇒1行の終わりまで線
 - ⇒最後の行は矢印で線
 - ⇒1行目と最終行を結
 - 流し記事もリード文と同じように○と矢印
 - 編集後記も同じ。
- ※線も1文字と捉える
→□の上に線を引く！



班員全員が写っている写真をおきましょう。合成・加工はダメです！
(この写真はChatGPTに作成してもらいました)



チャットGPTで
作成した男子高校生
が写っています。

「ここは「カコミ記
事」と呼ばれる場
所」

「出来事の中で、場所
になります。一日の

気抜けば出発1分前

バスを見て猪突猛進

「や人物など、何か一
つのことを特化して
書けるスペース」

「自由に書けます。
ストリーム式で書けます。

「流し記事」

「記事で書ききれない
ことを、掘り下げる

「詳しく話しますよ！」

「自主研修で一番楽し
かったことや、ハブ

ニング、食事内容の
出番でしょう（土田）

「本人の声」を盛り
込んでアリティを

「出番でしょう（土田）」

「編集後記」

「編集後記は、書き手が

「自由なテーマで発信でき
る場所でも、旅行中の裏

の感想でも、話でもOK。一

人で書いても良いし、全

員の人一言を載せても

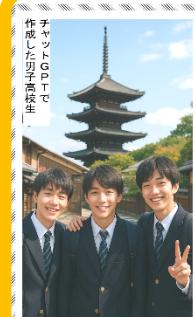
「アリ。読者に近感を与
えられるかどうか、筆者

の腕が試されます（土田）」

「（文責 土田）



班員全員が写っている写真をおきましょう。合成・加工はダメです！
(この写真は「O△□CDT」に作成して「O△□」へ)



気げば出発1分前
バスを見て猪突猛進

千支つながりで護王神社を訪問



足跡の守り神「イノシシ」

編集後記

見学旅行
自主研修

O△□新聞

歴史と風情を感じた京都 「おたべ」を食べて3キロ増

2年9組 0班発行
責任者: 上田 泰裕
班員:
.....
.....

今回の道のり
1 金閣寺
2 京都駅
3 北野天満宮
4 晴明神社
5 護王神社

ここは「リード文」と呼ばれる場所。流し記事（本文）を要約した事件の概要を話す場面。自主研修がどうだったか簡単にまとめよう。



ここは「カコミ記事」と
いいます。タタミ記事や
出来事の中で、場所

になります。一日の
事成し羽子高橋生

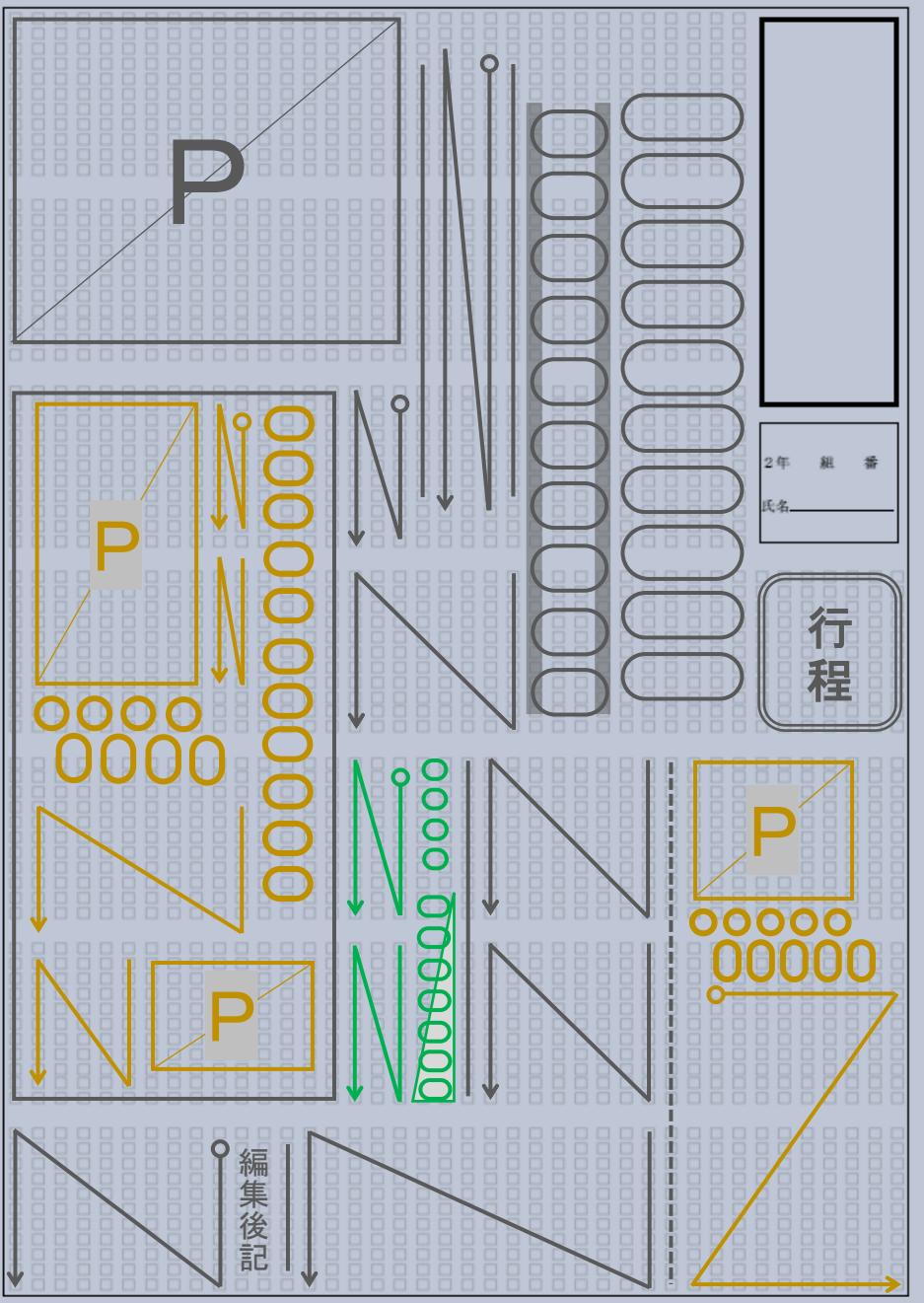
大阪・道頓堀で食べ歩き
たこ焼きめりもやうまいえ



ここは「タタミ記事」と呼ばれる場所になります。左にあるタタミ記事と同じ扱いですが、上下左右を全て囲まずに、線1本で外側に括され込んでハコに入っていることを表します。線を減らしたオシャレな表現方法で、縦長のタタミ記事が理想的です。

紙面に横書きの記事を入れると変化が生まれます。達和感から、読者の目を引く工夫とも言えます。割付用紙と文字の配置が異なるため、縦書きよりも文字数を増やすこともできます。（文責：上田）

第1号 平成 年月日



割付用紙の書き方

③記事をおく

・左の力コミ記事

- ・見出し①（平体で4行幅3段）
- ・見出し②（2段目と3段目の間に3文字幅で）

- ・写真①（左1行空け6行幅）
- ・写真②（上下1字空け7行幅）

→空いたところが全て記事。
今回は1段9文字として、
矢印を引く。
※段間も1文字分で扱う。

※線も1文字と捉える
→口の上に線を引く！



班員全員が写っている写真をおきましょう。合成・加工はダメです！
(この写真はChatGPTに作成してもらいました)



気づけば出発1分前
バスを見て猪突猛進

社を訪問 や人物など、何が自由のことを特化し、自分で書けるスペースとなります。流記事で書ききれなことを、握り下げ詳しく語りましょう。自主研修で一番楽しかったことや、ハーニング、食事内容



編集後記
編集後記は、書き手が自由なテーマで発信できる場所です。紙面づくりの感想でも、旅行中の見聞でも、何でもOK。

編集後記

「」は「リード文」と呼ばれる場所。流し記事（本文）を要約した内容を記載します。テレビのニュースなら、アナウンサーが映つて事件の概要を話す場面。自主研修がどうだったか簡単にまとめよう。

2年9組 0班發行
責任者 上田 泰祐
班員 · · · ·
· · · ·
· · · ·
· · · ·

今回の道のり

- 1 金閣寺
- 2 京都駅
- 3 北野天満宮
- 4 晴明神社
- 5 護王神社



大阪・道頓堀で食べ歩き

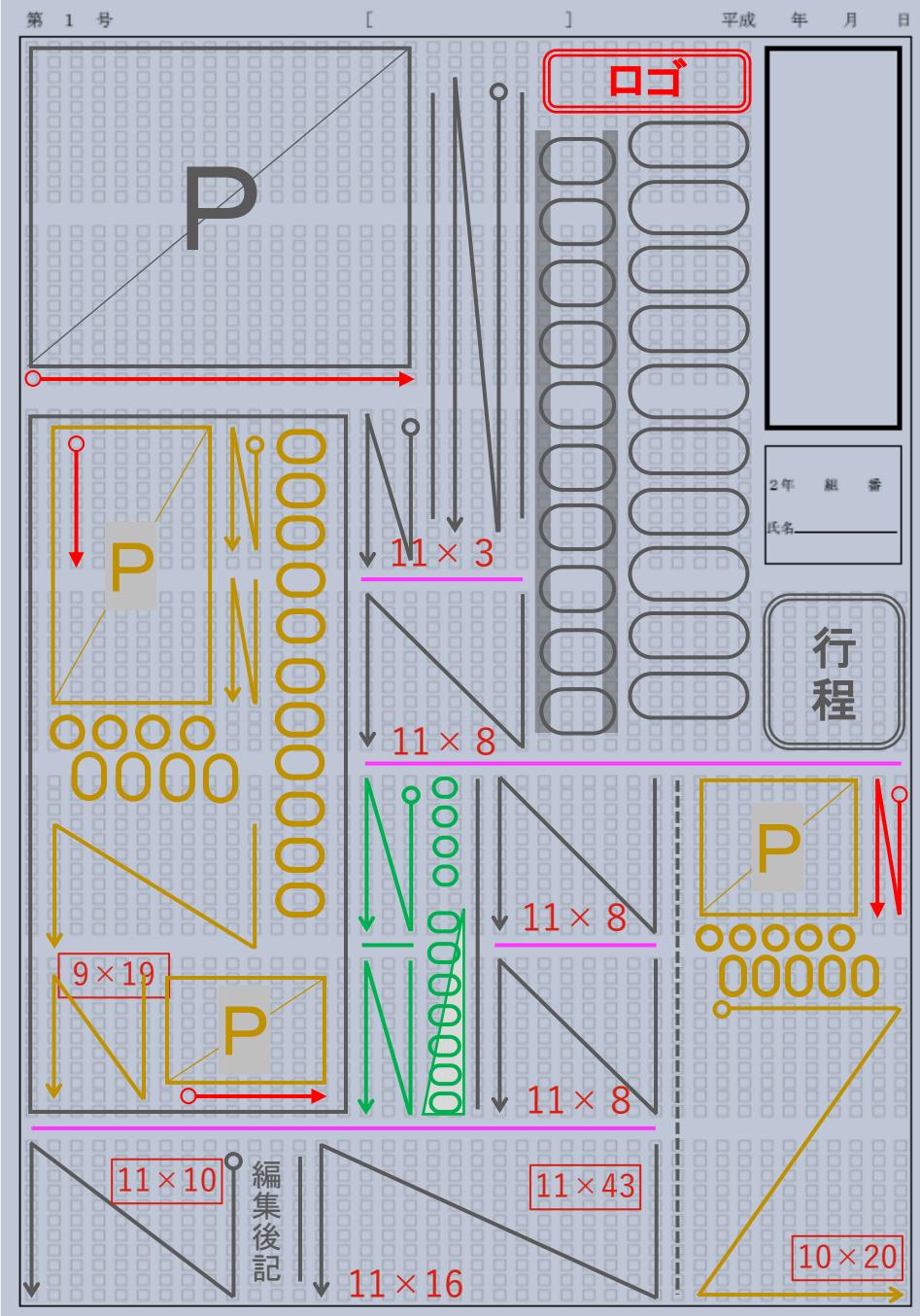
介などを期待します。人物名「本人の声」を心んでアリティも含めよう(土田)

(田) 盛古して
をりやて 足腰の守り神「イノシシ」

の腕えらアリ員の人で話の感る場自由編 紹しよ

う。集後記

(文責 土田)



割付用紙の書き方

④補足事項をおく

- 写真の説明
(記事と同じ矢印)
 - 段罫線

※線も1文字と捉える
→□の上に線を引く！

①新聞の用語を知る・他紙に学ぶ より

- 見本紙の写真について…

以前：私の姿と背景を合成した画像で対応

現在：生成AIで画像を作成して対応



「見学旅行で京都を訪問する
男子高校生」R5 Canva作成



「見学旅行で夜の大坂にいる
男子高校生」R5 Canva作成



「見学旅行で京都を訪問する
男子高校生」
R7 ChatGPT 作成



「見学旅行で京都を訪問する
男子高校生3人組」
R7 ChatGPT 作成

①新聞の用語を知る・他紙に学ぶ より

- R5当時は、あたり・はずれが…

「見学旅行中に大阪でたこ焼きを食べる女子高校生」



左：R5 Canva 作成（鞄の右側一部をトリミング）

右：R7 Canva 作成（右側の子の肩部分をトリミング）



上：R7 ChatGPT 作成



左：R7 Gemini 作成

①新聞の用語を知る・他紙に学ぶ より

- R5当時は、あたり・はずれが…

「見学旅行でソフトクリームを食べる女子高校生」



R5 Canva 作成
※左右一部トリミング



R7 Canva 作成



R7 ChatGPT 作成 …よく見ると前の4人組？

①新聞の用語を知る・他紙に学ぶ より

- R5当時は、あたり・はずれが…



「見学旅行で着物を着て集合写真を撮る女子高校生たち」R5 Canva 作成



「見学旅行で着物を着て集合写真を撮る女子高校生たち」R7 Canva 作成



「見学旅行で京都を訪問し、集合写真を撮る女子高校生」R7 ChatGPT 作成

実際の授業スライドで紹介…今回の作業日程

- ① 新聞の用語を知る・他紙に学ぶ
- ② 回想・新聞の中身を検討・役割分担
- ③ 記事の作成・レイアウト作成
- ④ 記事のデータ化・レイアウト完成・写真の選定・題字の選定
※記事データは、授業の最後にテキスト化します。
※個人端末から Google の Classroom・ドライブにアクセス
※写真は加工してはいけません！（写真：真実を写したもの）
- ⑤ 見出し・題字の検討、紙面（記事・写真トリミング）修正→完成
※見出しのフォント、網掛け・題字の地紋の選定
- ⑥ 紙面の読み比べ・感想入力、振り返り

研修新聞計画表〔提出用〕 2年 組 班 記載者氏名：_____

- ・新聞題字『_____』新聞【手書き・スマホ作成・PC(標準)】
- ・作成面数【1面・2面】・ロゴマーク【あり・なし】

研修コース（計画表十当日追加も記載）→【縦書き・横書き・スマホ作成】

- ①『_____』→②『_____』→③『_____』
 →④『_____』→⑤『_____』→⑥『_____』
 →⑦『_____』→⑧『_____』→⑨『_____』

記事の選考（『』には、場所・人物・内容がわかるように見出しき。概要是簡単に。）

※1 カコミ・タタミは2~4コが標準。記事は1つ10字×10~20行程度が一般的。

※2 全体の流し記事では、出発地点～到着まで、全ての場所での内容を盛り込もう。

出来事	形式	写真	文字数	担当者
①『 『 ※概要	カコミ タタミ ・ 流し	有 ・ 無		
②『 『 ※概要	カコミ タタミ ・ 流し	有 ・ 無		
③『 『 ※概要	カコミ タタミ ・ 流し	有 ・ 無		
④『 『 ※概要	カコミ タタミ ・ 流し	有 ・ 無		
⑤『 『 ※概要	カコミ タタミ ・ 流し	有 ・ 無		

レイアウトの担当者【_____】⇒題字下・研修コースも担当

全体の流し記事担当者【_____】⇒文字数は（_____字×_____行）

全体のリード文担当者【_____】⇒文字数は（_____字×_____行）

編集後記の担当者【_____】⇒文字数は（_____字×_____行）

※3 各自、レイアウト・流し・カコミ・タタミのどれかを担当すること。

※紙面づくりの上の主な注意点を以下に記載します。

□必要な要素がひとつあるか（レイアウト考案の紙面で確認）

- ・プリント⑩で確認した要素のうち、①～⑪は最低限必要です。

□情報モラルに反した要素がないか（おもに写真・記事・見出し・題字）

- ・記事にウソ・フィクション・読んで不快・本人が傷つく内容などは、ダメです。
形に残るため、こちらで読んで、そう感じる表現は、直してもらいます。
- ・写真は真実を写した（=事実を伝える）ものですので、加工はダメです。

□見出しが「5W1H意識・複数（3本以上）」となっているか。

- ・1本ではダメ。2本以上は必要です。（場所で1本、内容で2本以上を意識しよう）
- ・事実（内容）を具体的。見出しが読んだだけで中身が伝わるかどうかが重要。
- ・「～とは？」のような疑問形はセンスゼロ。その答えを見出しひきましょう。
- ・フォントは「明朝体」と「ゴシック体」を交互に上手く使いましょう。
(PC内のフォントならOK。Wordで実際に見出しが入力して、試してみよう)

□記事は「具体的」で、楽しさ・苦労・学習内容が伝わってくるか。

- ・字数稼ぎ、ネットで検索すればわかるような説明は不要です。
- ・記事に班員の名前、行動、話した内容などが出てくると、読んでいて楽しい。

※記事はMicrosoft Wordを用いて作成し、テキストデータで保存します。

※Chromebookを用いてGoogle Documentで下書き作成をしても構いません。

※欠席が続く場合、クラスルーム内のフォルダに記事を投稿してもらいます。

（保存場所は、下記の写真保存場所と同じ。わからなければ質問を）

□写真は「表情がよくわかる」もので、キャプションで補足されているか。

- ・自主研修中に行動したメンバーでの集合写真は必須。個人写真も載せましょう。
- ・実際に使う写真は、クラスルームのドライブフォルダに保存してください。

※LINEでのデータやり取りは画質劣化のため禁止。iPhone間のAir DropはOK。

※スマホからの保存は、Google Driveアプリが必要です(iPhoneは事前にDLを)

『Classroom ⇒ 情報〇組(2025)2025年度 ⇒ △班』の順に開く。

右下にある「+ボタン(追加アイコン)」をタップして「アップロード」をタップ。

該当する写真をタップすると、アップロードされます。

※Chromebookの場合、Google Classroomから「情報〇組」に入ると、右上にGoogle Driveのアイコンがありますので、そちらをクリックするとアクセスできます。

※授業での作成のため、紙面づくり（作業態度・完成作品）も評価対象となります。

班単位での評価を原則としますので、互いに協力しながら、楽しく作業してください。

※作業が著しく遅れている場合は、昼休みや放課後にPC教室で作業、もあり得ます。

班に1枚配布した
ワークシート

題字は後日で可
面数を決める
研修コースの確認



10分程度自由に話す



出来事をまとめる
(2~4くらいに)



役割分担
(字数はのちほど)
(必ず何かをやる)



右側の注意点を確認



記事の下書きを検討
レイアウトを検討

実際の授業スライドで紹介…今回の作業日程

- ① 新聞の用語を知る・他紙に学ぶ
 - ② 回想・新聞の中身を検討・役割分担
 - ③ 記事の作成・レイアウト作成
 - ④ 記事のデータ化・レイアウト完成・写真の選定・題字の選定
- ※記事データは、授業の最後にテキスト化します。
- ※個人端末から Google の Classroom・ドライブにアクセス
- ※写真は加工してはいけません！（写真：真実を写したもの）
- ⑤ 見出し・題字の検討、紙面（記事・写真トリミング）修正→完成
 - ※見出しのフォント、網掛け・題字の地紋の選定
 - ⑥ 紙面の読み比べ・感想入力、振り返り

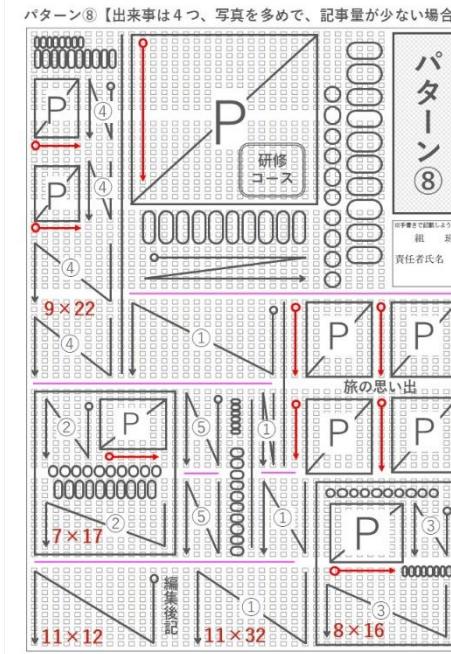
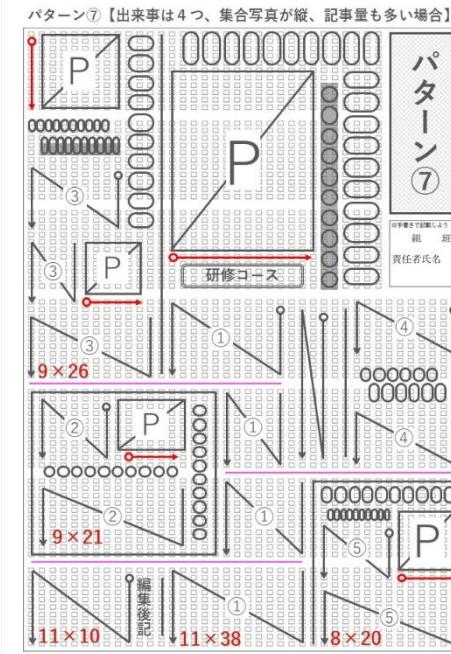
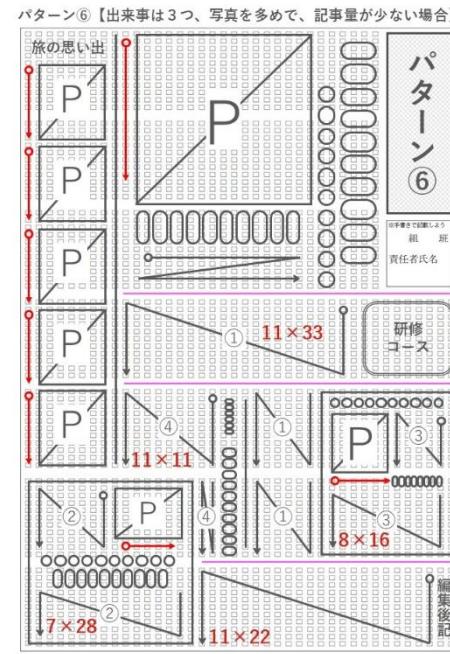
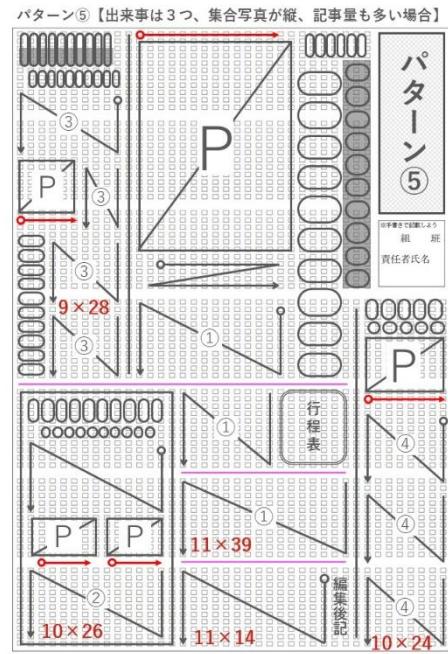
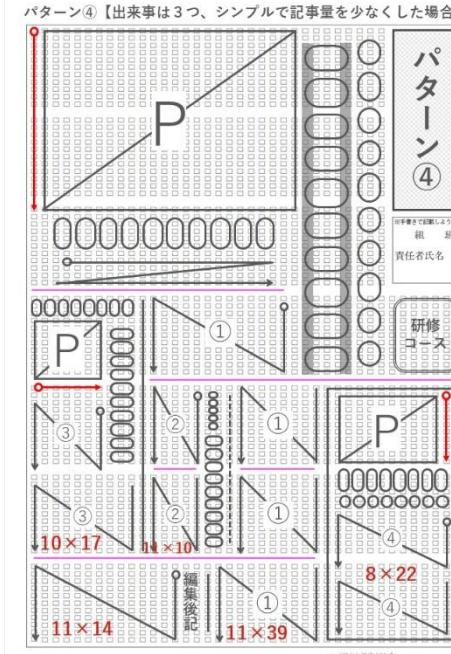
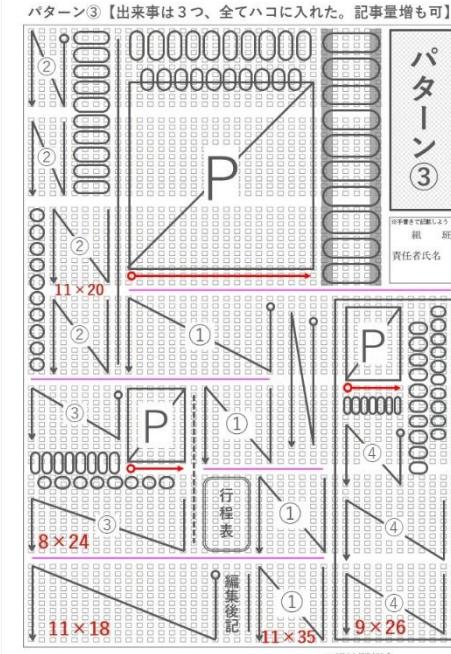
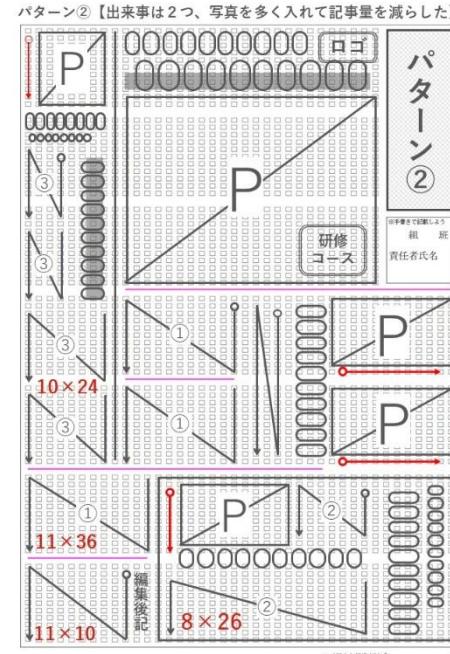
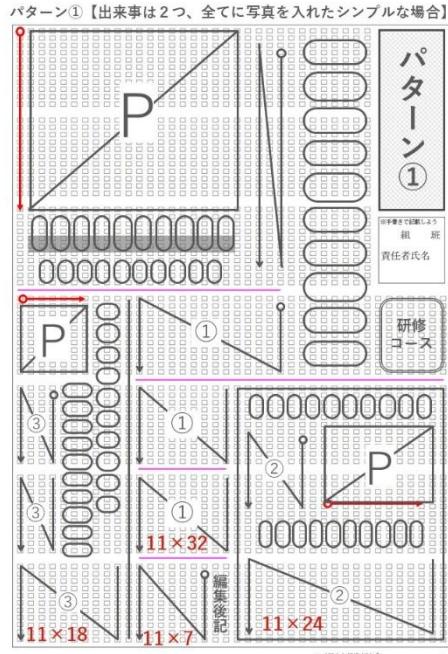
班に1枚配布した レイアウトパターン

ハコ記事の数が…

- ・ 2個→①or②
- ・ 3個→③~⑥
- ・ 4個→⑦or⑧

パターンは8つだが、
記事量や写真サイズで
調整（変形）するため
同じパターンでも出来
上がりは班で異なる

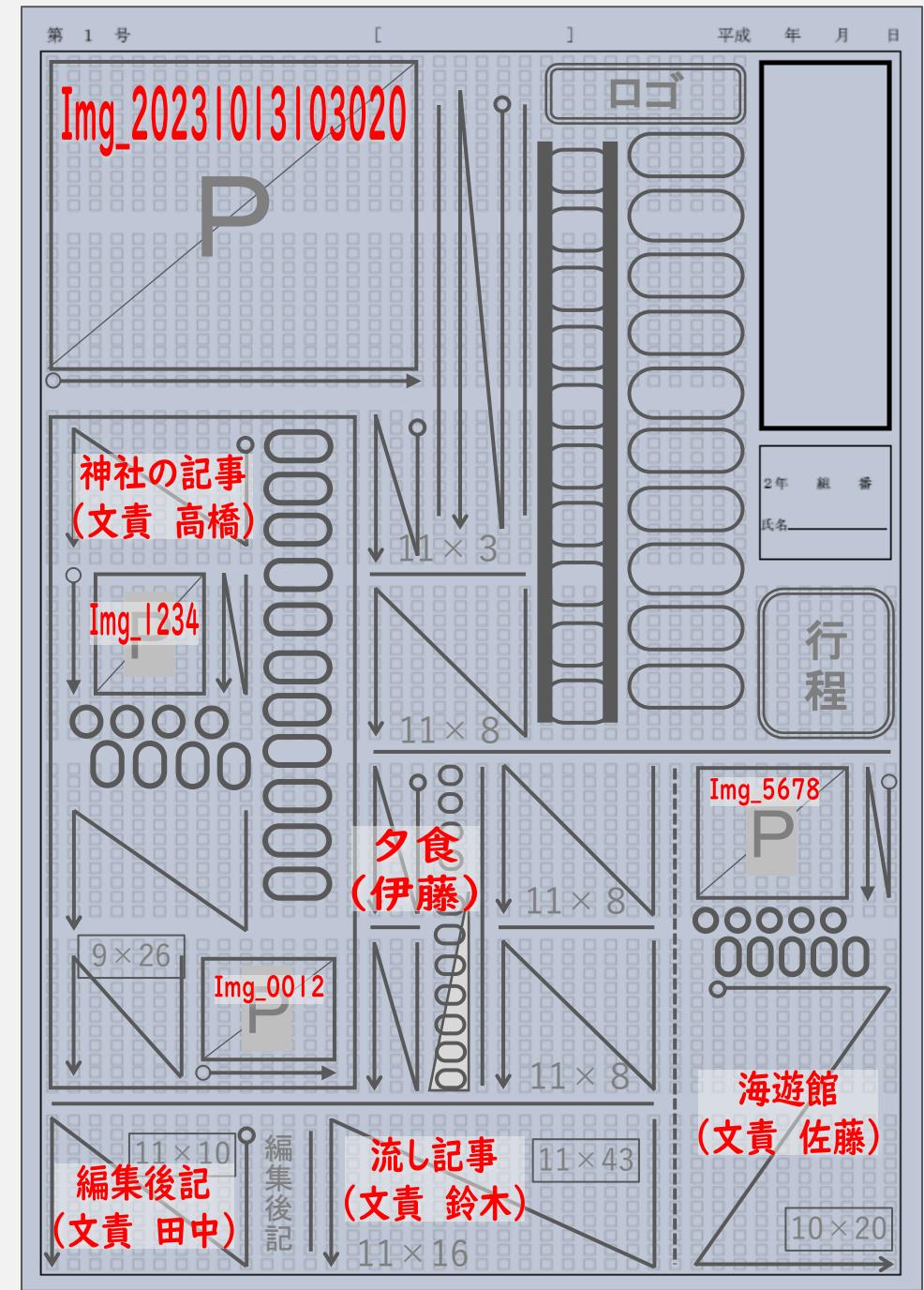
パターンを使わずに
レイアウト担当者が
自由に考えても可
※読みやすくなるよう
テコ入ればする



③記事・レイアウトの作成

- 流し記事は40行程度を目安に作成
- 出来事（ハコ）は、20行が目安。
- ※レイアウトによっては1行の字数
が変わることもあるので注意！
- 文末に **（文責 名前）** と記載します

- サンプルから選ぶ場合、**該当パターン**
の右上に、大きく○をつけてください
- オリジナルを考える場合は、**計画表の裏面にレイアウトを記入**してください。
- 写真の縦横は気にしない！
こちらでトリミングをして調整します。
- 記事量が決定したら**〇〇文字×〇〇行**
の形で担当者に伝えましょう。



実際の授業スライドで紹介…今回の作業日程

- ① 新聞の用語を知る・他紙に学ぶ
- ② 回想・新聞の中身を検討・役割分担
- ③ 記事の作成・レイアウト作成
- ④ 記事のデータ化・レイアウト完成・写真の選定・題字の選定

※記事データは、授業の最後にテキスト化します。

※個人端末から Google の Classroom・ドライブにアクセス

※写真は加工してはいけません！（写真：真実を写したもの）

- ⑤ 見出し・題字の検討、紙面（記事・写真トリミング）修正→完成
- ※見出しのフォント、網掛け・題字の地紋の選定
- ⑥ 紙面の読み比べ・感想入力、振り返り

④記事・レイアウト・写真選定

記事担当

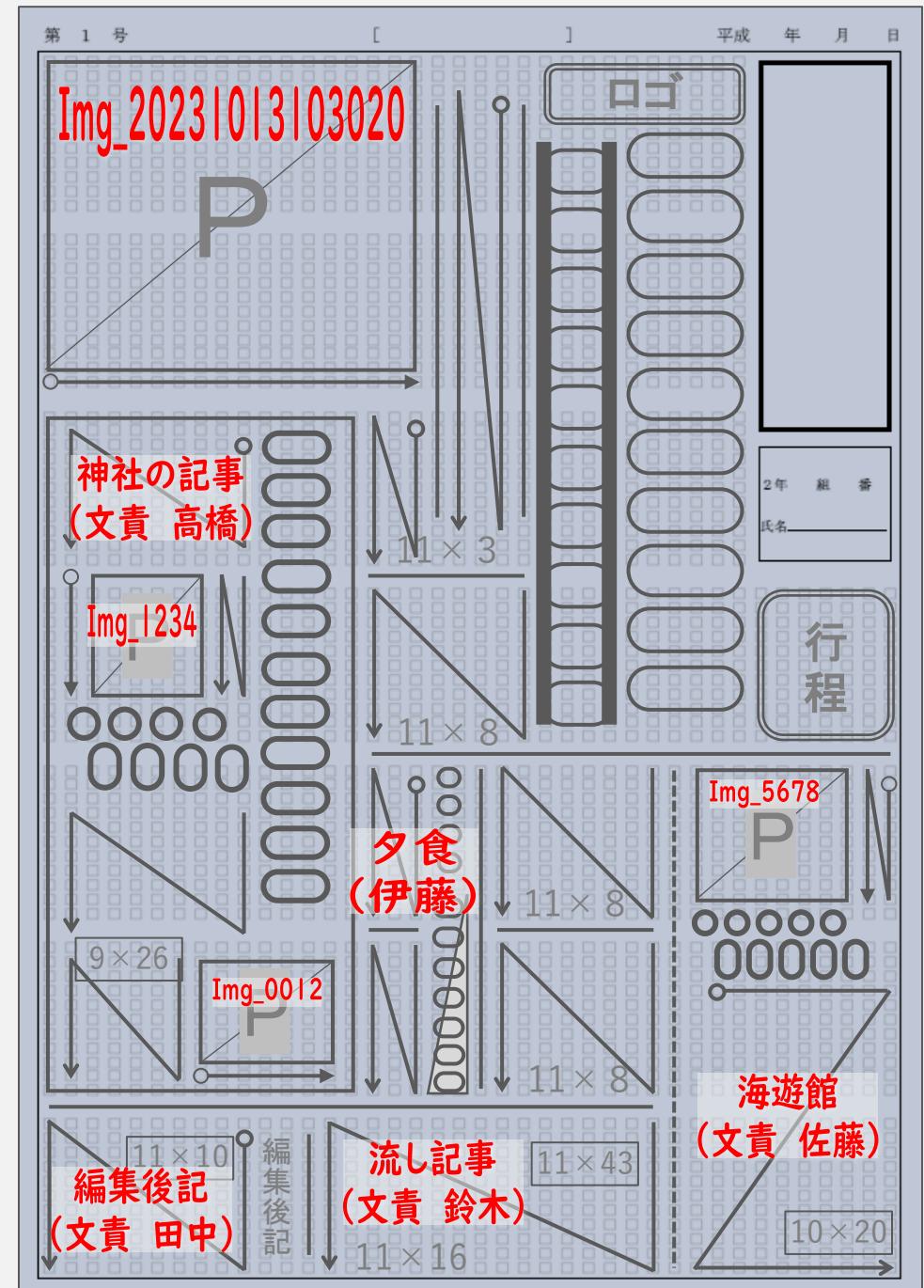
- 1行の文字数はページ設定で変更可。
- 行数は「行番号」の設定で表示。
- 打ちすぎ注意！文末に **(文責 名前)**
- 上書き保存後に、テキストデータ化。
(F12キー → 形式「書式なし」)

割付担当

- レイアウト用紙は、本日中に提出。
- 記事量が決定⇒担当者に伝えること。
※レイアウト内にファイル名を記入！

写真選択

- スマートフォンからGoogleドライブへ
アクセスして保存
※詳細はワークシートの裏面を確認！



④記事・レイアウト・写真選定

【写真選定の作業について】

- 生徒は事前にスマートフォンに「Google ドライブ」をインストールしておく（7割以上がiPhoneユーザ）

※事前に教員のマイドライブ上にフォルダを用意し、班ごとに共有をかけておく（アクセス制限）

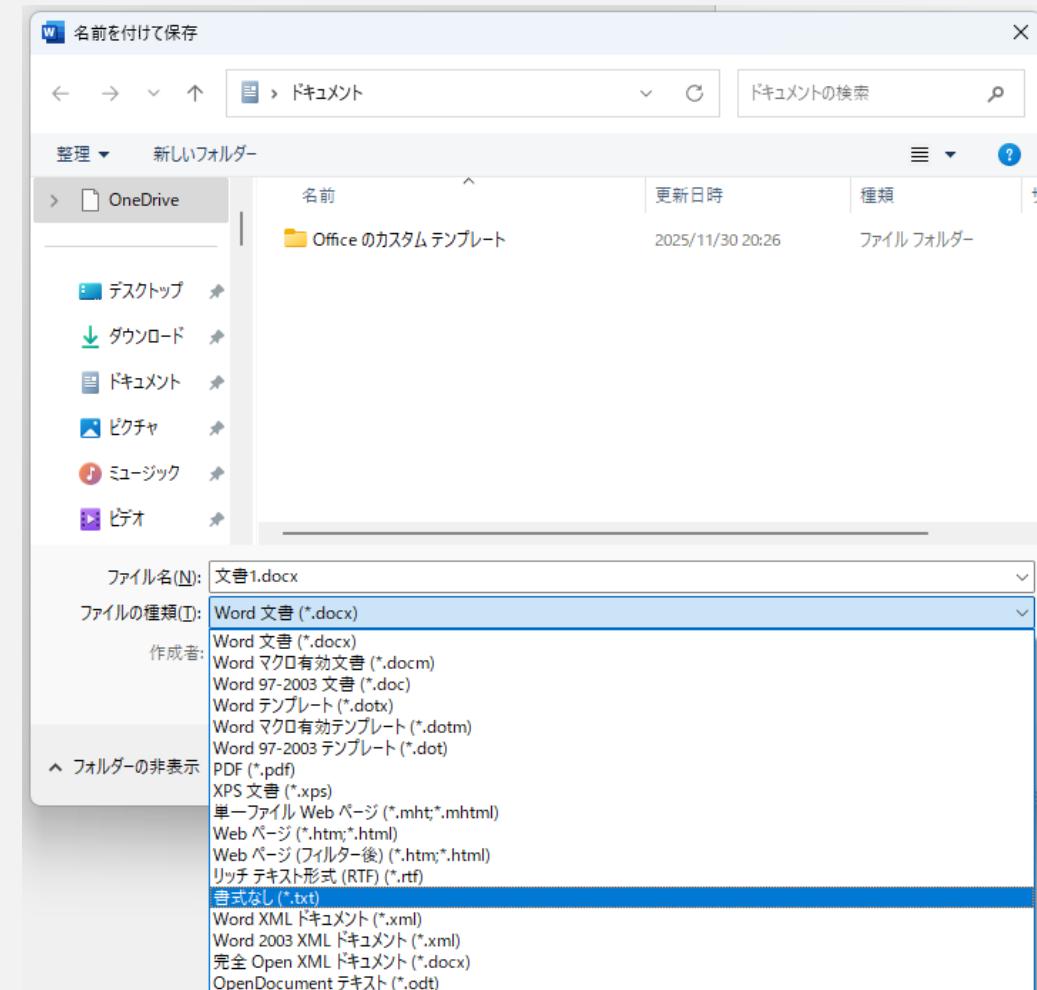
- 必要最低限の操作で終わらせるために、写真のコピー作業は、授業の最初に実施する。（コピー終了次第、スマートフォンは片づける）
- リースPCのブラウザ上でログインし、各班のフォルダにアクセスして写真を選択する。

※写真データのファイル名に拡張子が記されている
(拡張子の復習にもつなげる)

※写真のデータ量から、もとの画像データか確認
(LINE上で共有すると削減されることあり)

【記事のデータ化について】

- Google以外のOfficeソフトを経験させる
- 保存時に「テキストデータ」に変換する

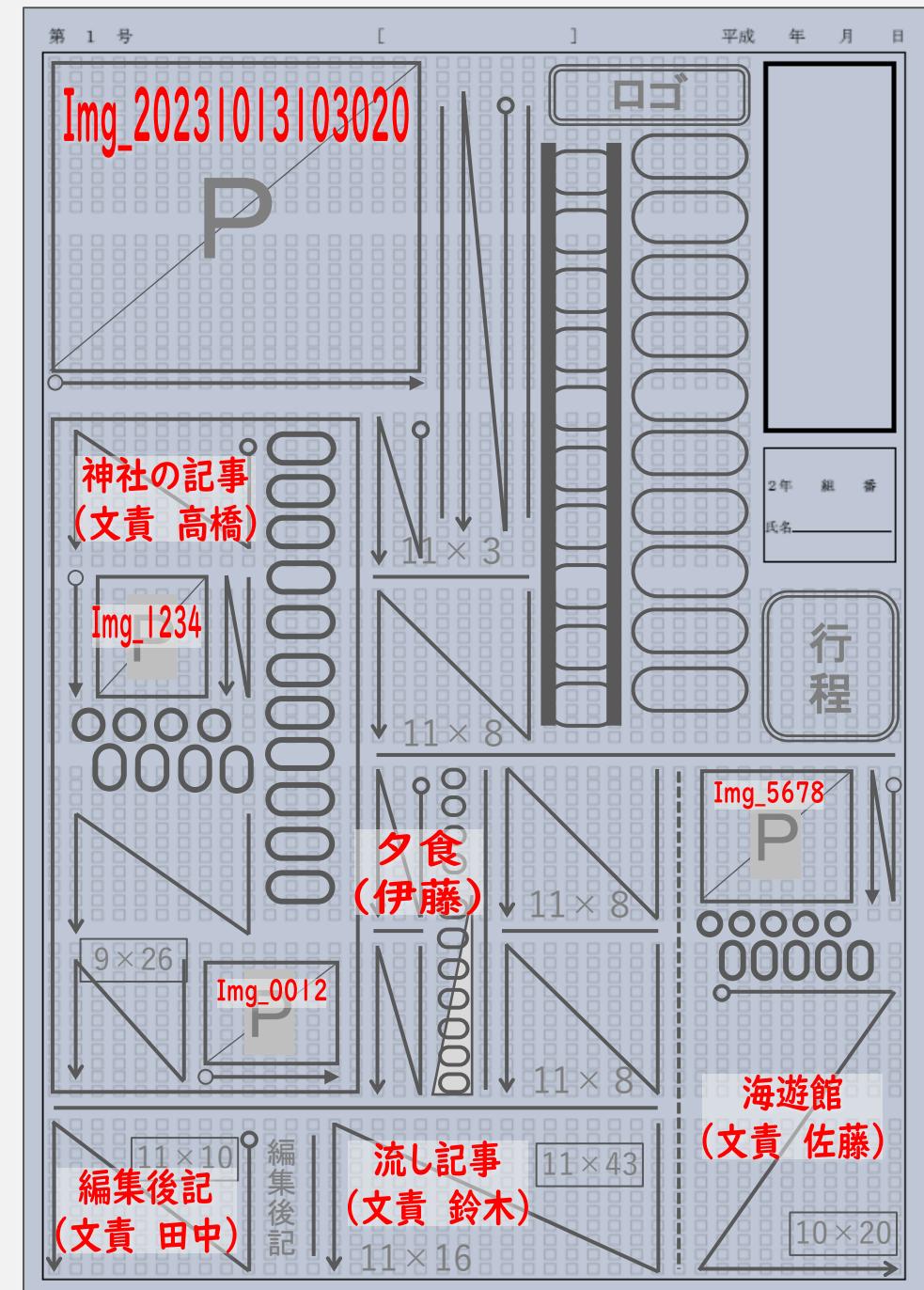


実際の授業スライドで紹介…今回の作業日程

- ① 新聞の用語を知る・他紙に学ぶ
- ② 回想・新聞の中身を検討・役割分担
- ③ 記事の作成・レイアウト作成
- ④ 記事のデータ化・レイアウト完成・写真の選定・題字の選定
※記事データは、授業の最後にテキスト化します。
※個人端末から Google の Classroom・ドライブにアクセス
※写真は加工してはいけません！（写真：真実を写したもの）
- ⑤ 見出し・題字の検討、紙面（記事・写真トリミング）修正→完成
※見出しのフォント、網掛け・題字の地紋の選定
- ⑥ 紙面の読み比べ・感想入力、振り返り

⑤見出し検討・紙面の修正

- 打ちすぎ注意！文末に (文責 名前)
- ※カンタンな記事の修正は、紙面上に赤ペンで修正内容を直接記入しよう。
- ※全面的に直す場合、紙面上の記事に赤ペンで×をつけて「差し替え」記載！(ファイル名「右下の記事差し替え」等)
- 未記入の箇所を赤ペンで埋める！
- 写真枠（空欄）→ファイル名
- 見出し・題字→内容を直接記入！
- 差し替える場合は赤ペンで×をつけてファイル名を書く（写真サイズ注意！）
- 紙面に直接記入。勝手に減らさない！（いつ・どこで・誰が・何をした）



⑥紙面批評・振り返り

※出来上がった紙面は、授業までにクラス単位で印刷しておく。

- ・一人4班分の紙面を読んで感想を入力する形とした。
- ・感想はGoogleフォームに入力。以下の観点を踏まえて入力。
 - ・見出しから記事の内容が具体的に伝わるか
 - ・写真は魅力的で、当時の情景をよく伝えているか
 - ・キャプションは適切に写真を補足しているか
 - ・記事は具体的で、人物が登場しているか
- ・振り返りも合わせてGoogleフォームに入力。
 - ・授業中の取り組み状況
 - ・特に頑張ったこと
 - ・学んだこと・得たこと
 - ・今後の「情報発信」「情報収集」で意識すること

※出来上がった紙面は、PC教室前の廊下に掲示、製本して配布

3セクション中 2個目のセクション

1. 各班が完成した紙面の感想

ここで入力した感想は、後日配信する予定です。
短くてもOK、全ての班に入力できなくてもOKです。言葉に注意して入力してください。

※奇数（1・3・5・7）班の人は、偶数（2・4・6・8）班の紙面にコメントしてください。
もちろん、すべての班にコメントをしてくれてもよいです。

※偶数（2・4・6・8）班の人は、奇数（1・3・5・7）班の紙面にコメントしてください。
もちろん、すべての班にコメントをしてくれてもよいです。

1班「すももももももももももうち」の感想

長文回答

『授業中の取り組み状況』はどうでしたか ※どちらともいえない人は3を選択*

1 2 3 4 5

意欲的に参加していない 意欲的に参加した

授業を振り返って『特に頑張ったこと』を教えてください。*

短文回答

授業を振り返って『学んだこと・得たこと』を教えてください。

短文回答

これからの生活で「情報発信」「情報収集」を行う際に、何を意識していきますか？今回の経験を踏まえて、簡単に教えてください。

長文回答